

## CORRUGATED WEEK 2022 (アメリカの段ボール機材展) 出展



アメリカ/ヘンリー・B・ゴンザレス・コンベンションセンター(テキサス州)で9月20日~21日の2日間に亘り開催された **CORRUGATED WEEK 2022(アメリカの段ボール機材展)**にて、PE紐と段ボール用自動結束装置等のプロモーションビデオを展示しました。当ブースを訪れた多くのお客様は、TOM製品の高い生産性に大きな関心を寄せていました。

1980年代後半から2000年に掛けて、足踏み結束機を350台以上、段ボール用自動結束装置TTCシリーズを30台以上の納入実績あり。現在、段ボールを束ねる作業は、PPバンド結束が主流。**日本よりも紙・板紙2.9倍・パルプ6.2倍の生産量があるアメリカ市場。**しっかりと販売促進に取り組んでまいります。

## エコ活動への第一歩

### PPバンド梱包機からPE紐結束機へ

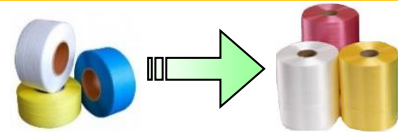
国内におけるPPバンドの年間使用量は約36,000ton。半自動梱包機の標準バンド幅15.5mmにて算出すると、年間の森林CO<sub>2</sub>吸収面積の換算値は約14,980haです。

環境対策・CO<sub>2</sub>削減の対策として、PE紐への変更をご提案いたします。**PE紐・28mm幅・2回巻の結束機へ入替するだけで、前述の数値が約7,140ton・約3,000hとなり、約80%削減に貢献いたします。(ランニングコストも約77%削減できます。)**

2020年7月よりプラスチック製レジ袋が有料化され、一般家庭でも海洋プラスチック問題が大きな話題になり脱プラスチックへの関心が高まってきました。一方、コロナ禍で多くの企業が切羽詰まりテイクアウト・デリバリーを始めた為、今は逆戻りしてプラスチック容器が大量に使われています。そして、外食を控えた結果、食品トレイや食品ラップなどのゴミも増え、消費者の環境問題への意識は更に高まっています。

環境へ配慮した企業活動は、企業の持続的な成長や評価にもつながります。**PPバンドからPE紐へ変更することで、地球環境負荷低減と顧客満足向上に結びつく結束機を推奨します。**

地球環境負荷低減と顧客満足向上に  
結びつく製品のご提案



**TOM** 山田機械工業株式会社

url : <http://www.tom-yamada.co.jp/>  
e-mail : [sales@tom-yamada.co.jp](mailto:sales@tom-yamada.co.jp)

東部営業部 Tel. 043(498)1000  
西部営業部 Tel. 079(560)0885  
名古屋営業所 Tel. 052(361)2101